



ぶらり神戸第17号

令和3年1月

「北区地名は、難読？」

今年に入って気温が低い日があり、積雪のため本校も1月12日臨時休校となりました。早く新型コロナウイルス感染症が収束の方向に向かい、いつもの春が訪れることを願うばかりです。

さて、本号では北区には難読地名がけっこうあるなあと思い、まとめさせていただきました。



学校から出てすぐに「小部峠」があります。発音としては、「おぶとうげ」ですが、表記は「おうぶとうげ」です。

北区は広いので、町ごとに話を進めます。まず、淡河町ですが、「おうご」と読みます。山田町にも「小河」と書いて、「おうご」と発音する地名があります。

淡河町には、「僧尾」と書いて、「そお」と読む地名、「神田」と書いて、「こうだ」と読む地名があります。なかなか読めませんね。

神戸フルーツフラワパークがある大沢町は、「おうぞうちょう」と読みます。唐櫃台は、「からとだい」と読みます。そして最後に有野町にある神戸電鉄三田線の「次郎駅」は、「にろうえき」と読みます。

神戸市の中でも多くの難読地名が存在する北区は、ある意味文化・歴史の宝庫といえるかもしれませんね。